

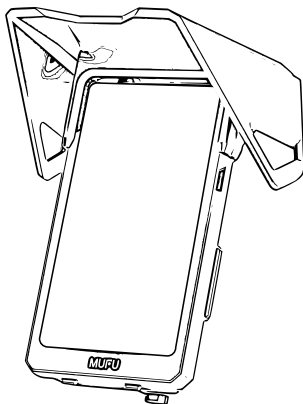
5インチスマートモニター 【取扱説明書】

MF-MS1000

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

お 知 ら せ

**取扱説明書の
最新バージョンは以下のURLから
ご確認いただけます。**

※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

<https://maxwin.jp/download/128530/>



この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。

この説明書の表記内容又はファームウェアバージョンにより、若干異なる場合がございます。

安全上のご注意

- 使用者は現地の法律を遵守し、安全な運転を最優先に考慮してください。走行中に本製品を操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながる恐れがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本製品の機能はあくまで参考用であり、運転中に実際の道路状況に基づいて判断してください。
- 本製品は適用される法律の限り、非営利目的のみご使用ください。法律が許す最大限の範囲で、本製品の故障または使用によって生じた損害については、保証の範囲外となり、直接的、間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- Wi-Fi電波強度は建物などの障害物を透過できない場合があります、最大対応距離は5mです。
- Wi-Fi利用可能チャンネル:Ch1～Ch11。
- 本製品は無線データ通信を使用しており、近くのデバイスを干渉する可能性及び干渉される可能性があります。
- 電子レンジ及びその他電磁機器の干渉のない場所でご使用ください。
- 環境により電波の受信状態は悪くなる場合があります。
- 本製品は2.4GHzの周波数帯で他のデバイスと一緒に使用する場合、両方の処理速度は遅くなる可能性があります。
- 本製品を使用する場合、若干熱くなることがあります。

- 本製品に不適切な使用や操作などで、製品または付属品が破損した場合、保証の対象外となります。
- 本製品の使用周波数は、他のデバイスとの干渉が起こる場合があり、悪影響や誤動作を引起す可能性があります。干渉を起こさないため、以下の注意事項を守ってください。

【飛行機の場合】

搭乗時に、電波を発信するデバイスが禁止されています。本機のWi-Fi機能を必ずオフにしてください。

【車両】

本製品から放射される電波は、自動車の電子システムに干渉を与える可能性があります。車両の問題については、自動車のメーカーまたは代理店にお問い合わせください。

【ペースメーカー】

ペースメーカーに干渉を避けるため、本製品を作動しているとき、ペースメーカーから約15cm(6インチ)以上離してください。
なお本製品を胸ポケットに入れないでください。干渉が疑われる場合、すぐ本製品の電源を切ってください。

【医療機器】

個人用医療機器を使用されている場合は、機器の製造元または医師に相談してください。医療機器に影響がないことを確認した上、ご使用ください。

【医療機関】

病院や医療機関で、無線電波の影響を受けやすい精密電子機器を取り扱っているため、医療機関や医療関係者などの指示に従ってください。

【危険場所】

「危険場所」や「電磁波や静電気禁止」など標識が掲示されている場合、電磁波や静電気によって引火の恐れがあるため、電源を切るという指示に従ってください。

- 本製品の操作中に発生したデータまたはコンテンツの損失について、当社は一切の責任を負いません。

注意事項

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- ご使用前に、スクリーンの保護フィルムをはがしてください。
- 本製品には、付属のUSB mini または USB Type-C ケーブルをご使用ください。他社ケーブルを使用すると、本体が故障する恐れがあります。
- 本製品に搭載されているオービスやスピード警告、取締装置警報、方向指示などの機能は、GPS受信状態により影響を受けて精度が下がってしまうこともあるので、すべての情報を保証するものではありません。ご了承ください。
- 本製品の「ミラーリング」機能は、使用するスマートフォンのバージョンやアプリにより互換性が異なります。画面の表示が出て来ない場合、ご使用の端末は当機能に対応できない可能性があります。
- 録音機能を使用する際は、録音終了後に必ず手動で録音を停止してから電源を切ってください。録音中に電源を切ると、録音データが保存されない可能性があります。
- 本製品はスマートフォンやデバイスに給電する時、使用環境により出力不足場合があります。デバイスを素早く充電する場合、モバイルバッテリーで充電することをおすすめします。
- 録音および通話録音機能を使用するには、メモリーカードが必要です。使用前にカードをフォーマットしてください。容量32GBまでmicroSDカードを推奨します。
- 定期的に時刻同期とメモリーカードのフォーマットを行ってください。
(目安:月1回)
- 製品出荷時に検品のため、本体とブラケットは細かな傷が入る場合が稀にあります。予めご了承ください。

- 必ず取扱説明書に従い、しっかり本品を取り付けてください。走行中に製品が落下し、生じる損傷や事故に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本製品は市販のmicroSDカードに対応していますが、すべてのカードとの交換性は保証されておりません。
- メモリーカードの不具合の場合、録音データの保存ができない可能性があります。純正のmicroSD カードを使用してください。
- 本製品を自己改造、分解、部品交換をされた場合、保証が無効となります。ご注意ください。
- タイヤ空気圧センサーは、気候、温度、走行状況、電波干渉など影響を受ける可能性があります。空気圧や温度のデータはあくまで参考資料としてご利用ください。異常があった場合は可能な限り速やかに専門業者に点検・修理を依頼してください。
- タイヤ空気圧センサーはボタン電池を内蔵しております。タイヤデータが長時間に検知されない場合、電池残量不足の可能性があります。新しい電池に交換してください。
- 本製品はタイヤセンサーに30分以上接続されていない場合、空気圧データは本体に表示されません。タイヤセンサーが紛失または盗難されていないかをご確認ください。
- USBポートとmicroSDカードスロットに挿入する前に、水滴や湿気がないかご確認ください。

本製品の利用開始することで、上記の内容に同意したものと見なされます。

microSDカードについて

■本機を使用するときは、microSDカードが必要です。

■使用できるmicroSDカードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。

本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。

・microSDXCカード: 容量: 32GBまで、スピードクラス: CLASS10以上

※未使用や利用しているカードに関わらず、初めに本機でフォーマットを行ってください。

※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。

■ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。

■microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

■microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。

■microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。

■使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。

※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。

■正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。

■microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。

- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。
また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等はありません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

microSDカードお取り扱い時のご注意

本製品に使用する microSDカードで厚さ 0.8mm以上のものはご使用にならないでください。

■カードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。

国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。



容量:32GB

品番:SD-A32G

※microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。

※microSDカードラベルなどを貼らないでください。

本製品の防水性能について

本機は、IP66相当の防塵・防水仕様となっています。

※防水性能は当社試験方法によるものです。

※保護ゴムキャップは取り外さないでください。

※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。

※本機が濡れた場合、乾いたやわらかい布などで水分を丁寧にふき取ってください。

●本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。予めご了承ください。

●本製品をご使用の際は、湿気や高温(60℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

●洗車時には本製品を外して洗車してください。保管してください。

1.製品内容



本体



サンバイザー



サイドミラーマウント



USB miniケーブル

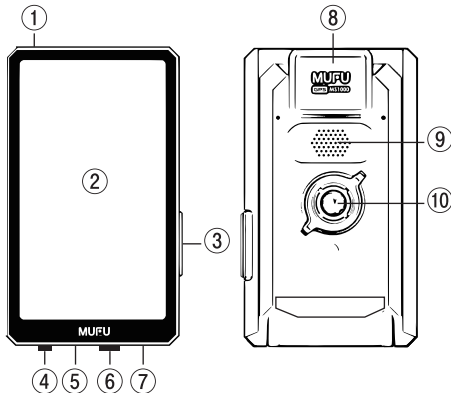


USB Type-Cケーブル



取扱説明書

2.製品各部説明



1	自動調光センサー	6	USB Type-Cポート
2	5インチタッチパネル	7	マイク
3	LEDインジケータ	8	GPSアンテナ
4	mini USBポート	9	スピーカー
5	microSDスロット	10	マウント取り付け部

3. LEDインジケータの説明

項目	LEDインジケータ	スピーカー
電源ON	赤 点灯	—
使用中	青 点灯	—
オービス	赤 / 青 点滅	前方にオービスあり。 速度制限 ____Km
区間速度 オービス	赤 / 青 点滅	前方に区間速度オービスあり。 速度制限 ____Km 距離約 ____Km
AI無断駐車 検知システム	赤 / 青 点滅	前方に違法駐車 の通報システムがあり
スマート検知	赤 / 青 点滅	前方にスマート検知システムが あり。歩行者にご注意ください

4.取付説明

以下の順に取り付けてください。

- 1.microSDスロットの防水カバーをあけてから、microSDカードの金属面を"下"にして、スロットに差し込みます。
- 2.バイクのサイドミラーを外し、付属のZ型サイドミラーマウントを取り付けてから、もう一度サイドミラーを取り付けてください。
- 3.Z型サイドミラーマウントのボールジョイントを本体裏面のマウント取り付け部に
取り付けてから、ナットを締め、固定します。
- 4.サンバイザーをモニターの上から差し込み、プラスドライバーで本体裏面の2つネジを
締めます。
- 5.取付完了。



5. 給電方法

本製品には2つ給電方法があります。

1. 車 / バイクのバッテリーから給電

同梱されているmini USB 12V電源ケーブルで、入力端子をバイクの電源に接続し、出力端子のmini USBを本製品の対応ポートに接続してください。

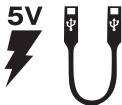
※バッテリーから給電する場合、本体のUSB Type-Cポートはスマートフォンやデバイスを充電することができます。本製品自体は電力消費することがあるため、高速充電に対応できない可能性があります。



入力端子mini USB 12V電源ケーブルを使用している場合、USB Type-Cポートは、5Vでスマートフォンの充電に対応します。

2.電源ポート / モバイルバッテリーから給電

同梱されているUSB Type-C 5V電源ケーブルで、USB Type-A端子を電源ポートに接続し、Type-C端子を本製品の対応ポートに接続してください。



USB Type-Cケーブル

DIYで簡単に取り付けられます

- 1.モバイルバッテリーに接続可能
- 2.バイクのUSB電源に接続可能

■ご注意

バッテリーから給電する場合、エンジンが始動すると、本製品に給電が始まり、自動的に電源オンになります。

エンジンが停止すると本製品の電源も自動的にオフになります。

6. 使用方法

6-1 「HUD」安全運転サポーター

本製品に電源が入ると、自動的に「HUD」画面に入ります。



項目	説明
① 状態バー	GPS受信、Bluetooth、Wi-Fiなど情報の表示。 アイコンがグレーの場合、機能が未起動を表示します。 アイコンが白色の場合、機能が起動中を表示します。
② 日付/時間	日時などの情報で表示します。
③ スピードメーター	車両の速度を表示します。
④ 録音アイコン	緊急時や必要な場合、録音ボタンを押すと、録音が始まり、もう一度押すと録音が終了します。 録音データはメモリーカードに保存されます。
⑤ タイヤ空気圧(オプション)	タイヤ空気圧のデータを表示します。
⑥ 方位表示	車両の進行方向を表示します。
⑦ 設定アイコン	本製品の設定画面に入ります。

6-2 ミラーリング機能

1. 初めての接続

- ① スマートフォンのWi-FiとBluetooth機能をオンにしてください。
- ② 設定画面で「ミラーリング」をタップします。
- ③ 画面の上でスマートフォン機種に対応するアイコンを選択してください。
(Android Auto、iOS CarPlay、HUAWEI Hicar)
- ④ 画面が再起動すると、Bluetooth名称が表示されます。
(BT : MS1000-****)
- ⑤ Bluetoothでスマートフォンと本体を接続し、数秒後自動的にミラーリング機能を起動します。



2. 接続履歴がある場合

本機の電源が入ると、スマートフォンのWi-FiとBluetoothをオンにしてください。Bluetoothを接続すると、自動的にミラーリングに入ります。ミラーリング機能が起動できない場合、本機を再起動してから、Bluetoothを接続してください。

3. ミラーリングモードの切り替え

モードを切り替える場合、本体のミラーリングアイコンをタップし、対応されたアイコンを選択してください。選択すると、本体が自動的に再起動します。スマートフォンのWi-FiとBluetoothを再起動してから、Bluetoothで本機を接続してください。

■ご注意

1. ミラーリングモードに入ると、自動的にBluetoothを切断されることがあります。
2. 他のデバイスのWi-FiやBluetoothにより、本機のミラーリングに干渉されることがあります。不具合の場合、他のデバイスのWi-FiやBluetoothなどをオフしてください。

4. 音声出力の切り替え

設定画面で「音声出力」をタップすると、「本機出力」と「デバイス出力」の選択肢があります。お好みの設定を選択してください。



4-1 本体から出力

「本機出力」を選ぶと、本製品から音声出力される設定になります。CarPlayを使用する場合、iPhoneの「コントロールセンター」で、出力の切り替えができます。

Android Autoの場合、出力の切り替えはできません。

4-2 スマートフォンから出力

「デバイス出力」を選ぶと、スマートフォンから音声出力される設定になります。

スマートフォンのコントロールセンターで音声出力方法を選択します。

例えばiPhoneの場合、「iPhoneから出力」または「イヤホン」から出力の選択があります。

お好みの設定を選択してください。

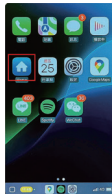


■ご注意

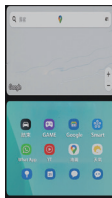
1. ミラーリング安定性を確保するため、本製品との接続が最優先に設定されています。その為、他社イヤホンやインカムをスマートフォンに接続される場合、音声出力は本製品から出力されることがあります。出力を切り替える場合、事前に設定を行ってからご使用ください。
2. Android Auto端末は多様性であり、本製品との交換性は確保が出来かねます。予めご了承ください。

5. 画面の切り替え

- ①CarPlayの画面で「HOME」のアイコンをタップすると、「HUD」画面に戻ります。



- ②Android Autoの画面で「終了」のアイコンをタップすると、「HUD」画面に戻ります。



- ③「HUD」画面で左下のアイコンをタップすると、ミラーリング画面に切り替えます。



6. ミラーリングモードの音量設定

画面の右下の状態バーから上にスワイプすると、画面の右側に音量バーで上下にスライドすることで調整できます。



7. ミラーリング機能のオフ

ミラーリング機能をオフにする場合、製品の設定画面に戻り、「ミラーリング」のアイコンをタップします。

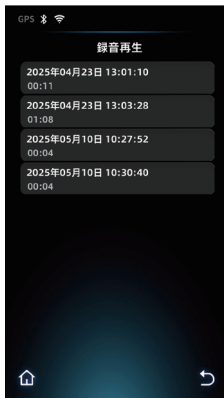
画面に接続中のミラーリングアイコンをタップし、「ミラーリングをオフにしますか?」と表示され、もう一度アイコンをタップすると、ミラーリング機能がオフになります。



6-3 録音機能

「HUD画面」の下に録音ボタンをタップすると録音を開始し、もう一度タップすると録音が終了します。録音ファイルはメモリーカードに保存されます。

製品の設定画面に「録音再生」のアイコンをタップすると、録音されたデータは確認でき、再生や削除などの操作にも可能です。



■ご注意

1. 録音ファイルが50個に達すると、メモリーカードの容量不足でデータの上書きを避けるため、定期的に古い録音ファイルを削除してください。
2. 本機システム安定性を確保するため、ミラーリング中は録音機能を使用できません。緊急時に録音が必要な場合、ミラーリングを切断してから（例えばBluetoothやWi-Fiをオフにする）、録音機能を使用してください。

6-4 オービスの表示

メイン設定画面に「オービス警報」のアイコンをタップし、警報の表示方法の選択肢があります。走行中にオービスが近くするとき、音声と警告画面でお知らせします。



警告画面が赤色に表示される場合、走行速度は道路の制限速度を超えていることを示します。早めに減速し、安全運転を心がけましょう。



また、オービス警報、違法駐車、交通監視システムなどの警告も表示され、道路ルールの遵守をお知らせします。

【区間速度オービス】



【AI無断駐車感知システム】



【スマート感知】



■ご注意

オービス警告については、地域またはその国のオービスポイントの情報が重要です。本製品には全てのオービスデータを網羅するものではありません。あくまで参考情報として提供されるものです。実際の道路状況に応じて、安全な運転を心がけてください。

6-5 タイヤセンサー(別売り)

1. 取付方法

タイヤのバルブにタイヤセンサーを取り付けてください。タイヤ空気圧の設定画面で、ペアリングできるタイヤを選択します。〔「フロントタイヤ」と「リアタイヤ」〕のペアリング付けたタイヤセンサーは空気圧の変化を検知されると、画面に空気圧データを表示します。万が一、タイヤ空気圧のデータが表示されない場合、もう一度以上の手順で取り付けてください。



2. 使用方法

タイヤセンサーの取付完了すると、メニュー画面でタイヤセンサーの設定に「自動車モード」又は「バイクモード」を選択可能です。

自動車モード：4つタイヤの空気圧と設定画面を表示します。

バイクモード：前後2つタイヤの空気圧と設定画面を表示します。



設定画面では、タイヤセンサーのペアリング、空気圧上限値のアラーム、タイヤ温度、空気圧単位の設定が変更できます。



3. タイヤ空気圧データの表示

タイヤ空気圧の情報は、「HUD画面」の一番下に表示されます。「バイクモード」を選択した場合、画面に空気圧が2つを表示されます。

「自動車モード」を選択したい場合、「自動車モード」に切り替えてから、ホーム画面に戻ると、空気圧が4つを表示されます。



■ ご注意

タイヤセンサーを取り付ける際、必ず順番に1つずつ取り付けてください。
2個以上を同時に取り付けてペアリングを行うと、エラーが発生する可能性があります。
ご注意ください。

7. メニュー画面の設定

インターフェースの右下角に「設定ボタン」をクリックすると、メニュー画面の設定に入ります。

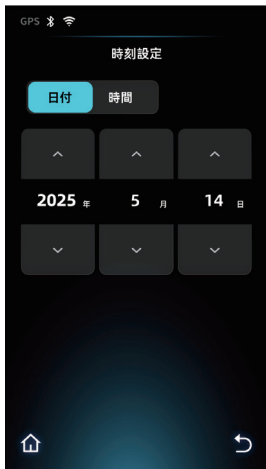


7-1 言語設定

言語を設定します。英語、中国語、日本語の選択が可能です。

7-2 日付と時刻設定

日付と時刻の設定です。矢印ボタンをクリックすると調整できます。

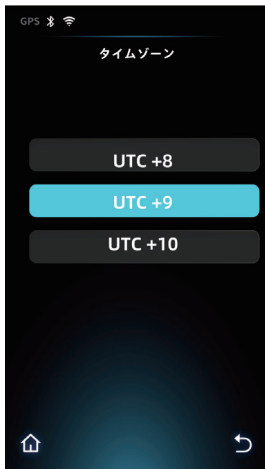
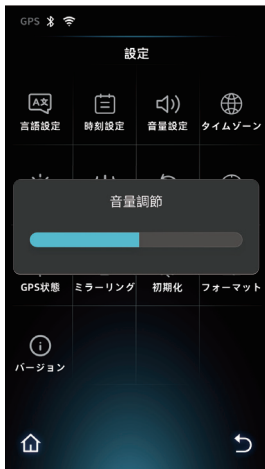


7-3 音量設定

スライダーを動かすと、音量の調整ができます。

7-4 タイムゾーン設定

国や地域に応じて、タイムゾーンを設定します。



7-5 スクリーン輝度の設定

明るさは自動/手動で調整可能です。手動調整の場合、スライダーを動かし、画面輝度の変更ができます。自動調整の場合、環境の明るさに応じて自動的に調整します。



7-6 録音データの再生

録音されたデータが通常録音と通話録音を確認でき、再生や削除などの操作が可能です。

7-7 オービス警報設定

オービス警報の表示を設定します。

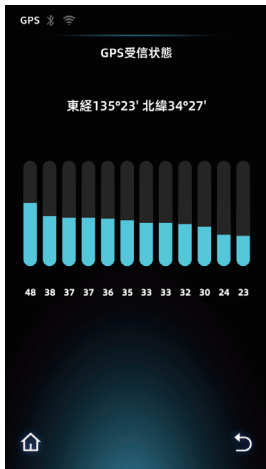


7-8 GPS情報

GPSアンテナの受信状態を確認できます。

7-9 ミラーリング設定

使用している端末の種類に応じて、CarPlayまたはAndroid Autoの設定を選択できます。
詳細はP.15 6-2を参照してください。



7-10 バージョン情報と更新

現在のファームウェアバージョンを表示します。

1. OTA更新

- ①お持ちスマートフォンの設定でスマートフォンの名前を「OTA」に変更します。
- ②スマートフォンのインターネット共有の設定でパスワードを「12345678」に設定します。
- ③インターネット共有を起動すると、本製品の設定画面で「OTA更新」をタップし、自動的にデータをダウンロードと更新が開始されます。完了後自動的に再起動して更新が完了します。

※更新完了後、お持ちのスマートフォンの名前を変更ください。

- ④更新完了後、お持ちのスマートフォンの名前を回復してください。
- ⑤OTA更新する場合、スマートフォンの通信データを消費することがあるので、ご注意ください。

2. ローカル更新 (microSDカード更新)

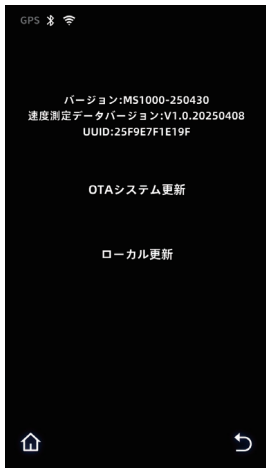
- ①本製品でmicroSDカードをフォーマットしてください。
- ②更新用ソフトウェアファイルをmicroSDカードに保存してください。
- ③microSDカードを本体のmicroSDカードスロットに挿入します。
- ④電源を入ると、画面に「ローカル更新」をタップし、自動的に更新が行い、完了後自動的に再起動します。

3. OTAでオービスポイント更新

- ①お持ちスマートフォンの設定でスマートフォンの名前を「OTA」に変更します。
- ②スマートフォンのインターネット共有の設定でパスワードを「12345678」に設定します。
- ③画面に「OTAオービスポイント更新」をタップし、自動的にデータをダウンロードと更新が開始します。ダウンロードが完了すると、画面右下の戻るボタンをタップし、自動的に再起動して更新が完了します。

■ご注意

1. ローカル更新を行う前に、必ず本製品でmicroSDカードをフォーマットしてください。
2. OTA更新及びローカル更新の際、電源を切らないようにご注意ください。電源が切れると本機が故障が発生する可能性があります。

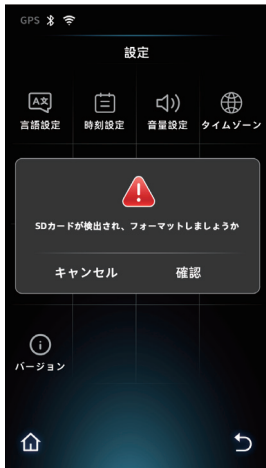


7-11 初期化設定

工場出荷時の設定に戻ります。

7-12 microSDカード初期化

アプリで「SDカードフォーマット」を押すと、「はい」を確認したら、全てのデータを削除します。ご注意ください。



8. 詳細スペック

MF-MS1000

項目	説明
LCD モニター	5インチタッチパネル
Wi-Fi	内蔵
Bluetooth	内蔵
GPS	内蔵
録音ファイル形式	WAV
microSDカード	スピード V30以上のmicroSD推奨 (32GBまで対応)
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵
入力/出力ポート	mini USB、USB Type-C
入力電圧	12V 又は 5V
防塵・防水性能	IP66
動作温度範囲	0° ~ 50° C
保存温度範囲	-20° ~ 70° C
サイズ	約125 × 71 × 21mm(本体)
重量	約110 g(本体)

MAXWIN